

令和6年度 児童福祉司・市町職員等キャリアアップ研修(第4回)開催要項

1 目的

児童福祉司や市町職員等が児童虐待防止対策に関わる上で必要とされる知識やケースワーク技法、ケースワークマネジメント技法等を習得することを目的に開催します。

子ども虐待に対して、地域の多機関多種職が連携した支援を行うために、児童相談所や市町職員に求められる姿勢や視点について学んでみませんか。

2 実施主体 山口県

3 実施機関 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

4 対象者

児童相談所の児童福祉司、児童心理司、市町担当職員(児童虐待防止対策に関わる部署)等

5 定員 30人

6 日程、内容、演題及び講師

開催日	時間	内容	演題・講師
10 月 7 日 (月)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:00	開会	開講・オリエンテーション
	10:00～16:00	講義・演習	「子ども虐待対応の多職種・多機関連携を進めるために」 ～地域ネットワークによる支援をどう構築するか～ 講師：明星大学人文学部福祉実践学科 常勤教授 <small>かわまつ</small> 川松 <small>あきら</small> 亮 氏 (昼食休憩は12:00～13:00を予定)
	16:00～16:10	閉会	閉講・アンケート記入

7 会場

山口県セミナーパーク 一般研修棟 研修室201

8 受講料

無料

9 申込手続

(1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会 福祉研修センター」のHP (<https://yg-fkc.com/>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申し込みください。

※1 事前に所属単位での「事業者登録」が必要です。(既に登録済の場合は不要)

※2 申込状況は、マイページ上で確認できます。

(2) 申込受付期間

令和6年9月2日(月)～9月23日(月)

(3) 受講決定

申込受付期間終了後、速やかに(1)で登録されたメールアドレスに通知します。

10 食事

昼食は、各自で準備するか併設の食堂を利用してください。

11 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

12 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP (<https://yg-fkc.com/>)に記載しますので、前日に必ず確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。

13 申込・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部 (福祉研修センター)

担当：田村

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)

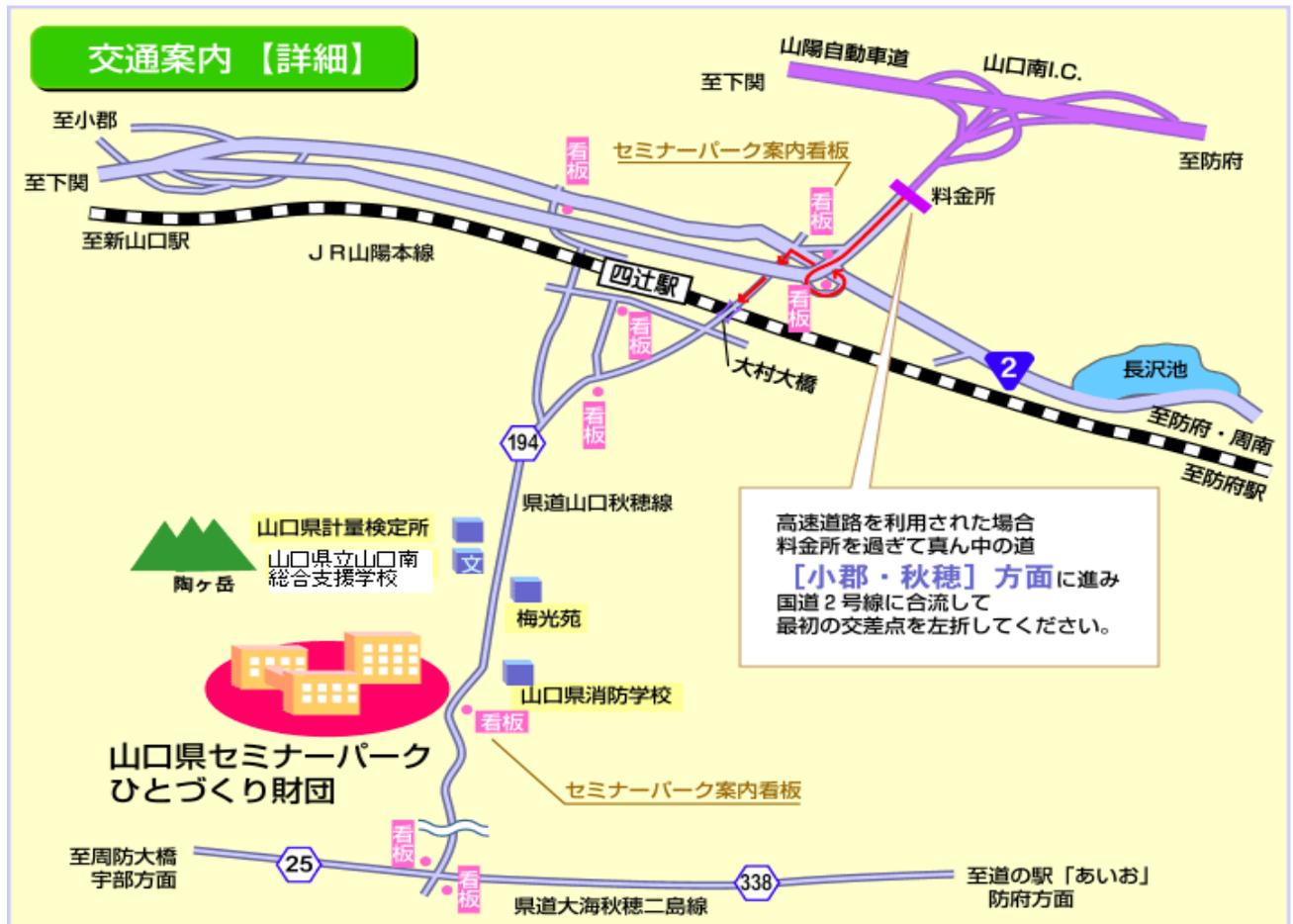
TEL 083-987-0123 FAX 083-987-0124



14 会場周辺図

〈山口県セミナーパーク〉

所在地：〒754-0893 山口市秋穂二島1062



- ・中国自動車道小郡I.C. から車で約20分 (10.7 km)
- ・山陽自動車道山口南I.C. から車で約7分 (3.5 km)
- ・新山口駅から車で約15分 (8.5 km)
- ・四辻駅から車で約5分、徒歩で約30分 (3 km)

<講師プロフィール>

川松 亮（かわまつ あきら）氏

明星大学 人文学部 常勤教授

《専門分野》

子ども家庭福祉、児童相談

《経歴》

東京都の福祉職として児童養護施設等で勤務ののち、児童相談所で児童福祉司として勤務。

その後、厚生労働省児童福祉専門官、子どもの虹情報研修センター研究部長を経て現職。子ども家庭審議会児童虐待防止対策部会委員、東京都・川崎市・荒川区・世田谷区・中野区児童福祉審議会委員、認定NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長、「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク世話人などを務める。

《著書・論文等》

『日本の児童相談所 子ども家庭支援の現在・過去・未来』（共著、明石書店、2022年）

『ジソウのお仕事』（共著、フェミックス、2020年）

『市区町村子ども家庭相談の挑戦』（編著、明石書店、2019年）

『事例でわかる子ども虐待対応の多職種・他機関連携』（共著、明石書店、2022年）

『子どものための児童相談所』（共著、自治体研究社、2021年）